

## はじめに

私は現在、兵庫県の公立小学校で通級指導教室の担当をしています。

通級指導の対象となるのは、知的な障がいはないものの学習上または生活上の困り感を抱えている子どもたちです。「授業になかなか集中できない」「コミュニケーションが苦手」など、様々な困り感を抱えた子どもたちが通級指導教室を利用しています。

通級による指導を受ける子どもたちの数は、この10年ほどで約2倍に増えています。同様に、特別支援学級に在籍する子ども、放課後等デイサービスを利用する子どもの数も増えていて、様々な困難を抱える子どもたちへの支援のニーズは、ますます高まっていると言えます。

私自身も通級指導教室を通してたくさんの子どもたちと出会い、その支援の「大切さ」と「難しさ」を日々実感してきました。

通級指導教室で行われるのは「自立活動」という学習です。特別支援学級でも教科の指導と併せて、この自立活動の指導が行われます。

ところが実は、この自立活動の指導に戸惑いを感じている先生方がとても多いのです。

それは、自立活動には教科書や具体的な指導マニュアルが存在せず、先生自身がその子の特性に合わせてオーダーメイドで教材を用意して指導する必要があるからだと思われます。目の前の子どもの課題はある程度把握できていても、「どんな教材を使えばよいのか」「どうやって教えたらいよいのか」が分からずに悩んでいる先生方がたくさんいるのです。

学校現場だけではありません。放課後等デイサービスなどの福祉の現場、そして家庭においても同様の悩みを抱える方々がたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。

教材づくりに関する書籍は数多くありますが、それを読んでも「実際に自分で作るのは難しそう」「一から教材を作る時間がない」と感じる方も多いと思います。

実は、私もその一人でした。時間や手間、費用のことを考えると、なかなか一步を踏み出せないというのが正直なところだと思います。

保護者のように専門知識を持たない立場の方であれば、より一層難しさを感じられるこ

とと思います。

——子どもの発達支援に役立つ教材を“すぐに”“手軽に”使いたい。

この願いは、学校・家庭・福祉という垣根を越えた多くの方々に共通する思いではないでしょうか。

私は、通級指導教室の担当になってから1年あまりの間に、のべ200を超える教材を制作してきました。

学校現場ではこれまであまり見られなかった形式のものも多く、視覚的な工夫もふんだんに取り入れています。私が担当する子どもたちも、毎回楽しみながらこれらの教材に取り組んでいます。勤務校の校内研修でも紹介したところ、大変な好評をいただき、他の学級にも教材を貸し出すようになりました。

これらの教材をすぐに、簡単に活用できる形で提供することができれば、きっと多くの方々のお役に立てるのではないかと考え、本書を企画しました。

本書に掲載されている教材の多くは、印刷すればすぐに使い始めることができます。さらに教材の使い方を説明する動画もあるので、誰でも簡単にご活用いただけます。

本書全二巻は「どんな教材を使ったらよいかわからない」「自分で教材を作るのは大変」といった悩みをお持ちの方々にとって、タイムパフォーマンス・コストパフォーマンスの両面で非常に優れた内容と自負しております。

学校だけでなく、ご家庭や放課後等デイサービスなど、様々な場面で活用していただければと思っています。

本書をご活用いただくことで、教材準備にかかる負担を軽減し、子どもたちへの支援によりゆとりを持って向き合っていただけるようになることを願っています。

そして何より、子どもたちの抱える困り感が少しでも軽減され、克服に向かっていくことを心から願っています。

津田泰至